

1. 収支（予算）

【予算収入と根拠】

契約利用者数 住吉38名、街道23名、住之江27名（2月13日現在）

※住吉には、リズムキリンやアソビバ・一部街道利用者も含まれます。

21年度から、報酬改定で区分分けが廃止となり、基本報酬単価が住吉で56単位、街道住之江で8単位引き下げられ、加算部分も下げられた為、下がった単価で計算し、挙げています。（20年度比較では、大幅な減算です！！）

（住吉）3,006万円 （住之江）2,806万円（街道）2,925万円

【支出項目特記事項】

・強度行動障害支援者養成研修（基礎）5千円×1名程 ※加算の為

・街道じらふの引っ越し費用。予算500万～800万円まで（敷金・礼金・工事費含む、物件次第です）

購入希望物品

・じらふ号の買い替えで、新車のリースを希望

・プラスチックロッカー（12人用）：扉を付けて13万8千6百円×3セット（3現場で1セットずつ）

※現在使用の金属ロッカー（縦細長）は、変形したり開閉の際の騒音、子どものカバンが入らない等の問題があった為、開閉時の音が少なく、丈夫なこの商品を希望

・机と椅子：4セット5万円程（2現場）利用児の身体に合ったものや、自立課題を行なう場所として、購入希望

・おもちゃ・ゲーム機とソフト・ハンモックなど：1万円～6万円×3現場

・PECS コミュニケーションブック他物品：1万円 ・玄関収納：1万円

・個室用照明器具：2万円・タイムタイマー：1万円・非接触体温計：各1万円

他、壁修繕用ペンキ・防犯ブザー等が、各現場から挙げられています。いずれも、中古商品を検討したり、寄付を募るなどし、それでも難しい場合に、購入を希望します。

2. 職員（育成・研修など）

住吉・住之江区放課後等デイ事業所等連絡会【すみすみ】や自立支援協議会研修での外部研修に参加出来る機会を多く持つ。デイ勉強会を今年度も実施し、パート・アルバイトへの参加率を上げる。日々の打ち合わせや振り返りを行ない、対応方法などの統一や、支援の質の向上、改善などを行なう。昨年度職員で学んだPECSを現場で実践し、パート・アルバイトスタッフへ引き継いでいく。強度行動障害支援者研修（加算の為）や、サービス管理責任者等の研修（5年ごと）。

3. 事業内容（おもな企画）

長期休暇期間は、毎日企画を実施し、調理・外出・工作などに参加して社会経験を積

んでもらえるようにする。昼食調理や防災訓練は、各デイで毎月実施。季節の企画で、ハロウィン・クリスマス・節分・バレンタインなどの企画を行ない、季節を感じられる体験を提供する。また、企画等の写真をSNSに挙げ、新規利用者やパート募集に繋げる。家族との情報発信のツールで、LINE公式を開設し、実施する。

年間事業計画（予定）

月	事業・行事等	会議	研修計画(内部・外部)
4	春休み(デイ午前中から) メンバーさん新体制 4月 1日～	デイ会議 支援計画会議	すみすみ研修
5	ゴールデンウィーク開所(休日時間) 第5土曜日特別企画	デイ会議 支援計画会議	デイ勉強会・強度行動障害支援者養成研修・すみすみ研修
6		デイ会議 支援計画会議	デイ勉強会 すみすみ研修
7	夏休み(デイ午前中から) 第5土曜日特別企画	デイ会議 支援計画会議	デイ勉強会 すみすみ研修
8	夏休み(デイ午前中から) 夏デイ外出(数回に分けて)	デイ会議 (短縮で開催する)	
9・10	10月第5土曜日特別企画 ギャングスター企画	デイ会議 支援計画会議	デイ勉強会・児発管研修 すみすみ研修
11	おやじの会	デイ会議 支援計画会議	デイ勉強会 すみすみ研修
12	冬休み(デイ午前中から) サンタ企画	デイ会議 支援計画会議	デイ勉強会 すみすみ研修
1	冬休み(デイ午前中から) 第5土曜日特別企画	デイ会議 支援計画会議	デイ勉強会 すみすみ研修
2	2022年度メンバーさん決定 卒業パーティー(高3対象)	デイ会議 支援計画会議	デイ勉強会 すみすみ研修
3	春休み(デイ午前中から)	デイ会議 支援計画会議	デイ勉強会 すみすみ研修

2021年度 じらふヘルパー 事業計画書

1. 収支（予算）

【予算収入と根拠】

・2020年度収入見込(46,871,000円)と同等

(2020年度はコロナ禍で自粛キャンセルが多かったことでの収入減。引き続き回復困難)

*コロナ禍の影響で収入減見込み

*利用希望待機者に対して、希望日、時間を精査し契約を進めて収入に繋げる

*主任復職(予定)で、主任業務、コーディネートを担っている副主任が現場で稼働し、収入につなげる。

*行動援護利用者を増やす為に、相談支援専門員と連携していく。

【支出項目特記事項】

- ・2020年度末で退職予定登録ヘルパー数名ほど。
- ・《人材確保》
登録ヘルパー確保はガイヘル講座受講者へ案内する。
GH、じらふデイ等で勤務しているアルバイト等への声かけ、チラシ配布等で周知、獲得する。また利用者さんにもヘルパー募集案内、ガイヘル講座周知を3ヶ月に一回実施。
またSNSでも発信する。
- ・平日：空き時間に業務実施。効率的に業務を行い、時間外にならないように努める。
休日：空きヘルパーがでないように、利用者へ声かけ。
前年度同様キャンセル対応(再調整)も粘り強く進める。
- ・事務パートへの業務分担を積極的に行ない、効率よく業務実施できるように努める。

2. 職員（育成・研修など）

- ・すみすみ研修(支援の視点・制度・手法など)参加し、日々の実践を実施。
- ・行動援護従事者養成研修:対象となる登録ヘルパーにすすめる。
- ・職員による登録ヘルパーへの勉強会実施。(ヘルパー通信の活用)
(虐待・感染症・人権・防災災害・支援の視点・車イス操作方法・ABAなど)
- ・ガイドヘルパー研究会(知的)の運営、ZOOMの活用などで定期的な集まりを模索、情報共有など他事業所を巻き込んですすめる。
- ・他機関、登録ヘルパーなどとケース会議を実施し情報共有する機会を設ける。
- ・住吉区こども部会に所属し、地域の課題等に取り組む一員として参加。
- ・PECS(H)の継続実施。PECSに取り組める機会には積極的に参加。また他部署にも声をかけ、部署横断で学びの機会をつくる。
- ・部門横断でケース会議を実施し、『明日からできる支援』を部署超えてのチームで取り組む。
- ・『目指せ支援者の会(通称/めざ会)』を継続実施。支援者としてのスキルアップを実施。また、他部署にも参加の声をかけて、顔の見える関係作り、支援のチームの輪を広げる。

3. 事業内容（おもな企画）

- ・担当者会議への積極的な参加、情報共有を行ない、日々の支援につなげる。

年間事業計画（予定）

月	会議	月	研修
4月～ 2022年 3月	・ヘルパーMT ・部門内支援計画会議 ・部門横断ケース会議 など	4月～ 2022年 3月	・ヘルパー勉強会（毎月2回） ・すみすみ研修（適宜） など

1. 収支（予算）

【予算収入と根拠】

- ・ **だいくかのん 2,458 万円** ・ **大領であい 3,955 万円**
- ・ **あると（新規）1,390 万円** ・ **れんと（新規）641 万円**

- ① だいくかのんに関しては、コロナの影響で、実家帰省期間が長くなるメンバーさんも多く、安定した収支には至らず。今年度もコロナの影響が出ると思われるが、基本単価と夜間支援体制加算で算出しています。
- ② 新規 GH 増設にあたり、だいくかのんを男性住居、新規 GH あるとれんとを女性住居（1名男性がいますが）として、入れ替えを行う予定です。
- ③ 報酬改正もあり、夜間支援体制加算の枠組みが変わり、区分によって単価が決められています。
それにより、報酬単価も下がっていることもあり、厳しい状況である。
（大領に関しては、区分が4以上の為、前年度とあまり代わりは無いが、だいくかのんにかんしては、区分により減算になる為、予算は低めに設定しています）

【支出項目特記事項】

だいくかのんに関しては、建物自体が古い為、修繕が必要な箇所が出てくることが予測される（前年度は水漏れや、床の張替え等）。

大領であいに関しても、10年目となる為、家電製品や修繕箇所が出てくることが予測される（前年度は、乾燥機の入替え、浴室カワックの入替え等）。

新規グループホームに掛かる費用。

2. 職員（育成・研修など）

新年度は新規 GH が開所予定と職員の入れ替わりもある為、職員の育成も行いながら、新規 GH の運営にも力を入れていきたい。なんでも相談しあえる関係を築き、お互いを認め合えるチームになるような関係性を築いていきたい。

研修に関しては、現場の状況も見ながら法人研修・すみすみ研修・外部研修に積極的に参加して行きたい（自ら参加したいといえる環境を整えていきたい）。

育成に関しては、自部門で完結するのではなく、他部署とも協力しながら、他部署間交流なども行なっていく。（コロナが収束してから）。

3. 事業内容（おもな企画）

昨年度はコロナの影響で、企画自体が実施できずであった。今年度は実施していきたいが、コロナの状況により、目処が立たず。個別での対応は行なっているが、全体での実施は厳しい状況と思われる。

ただ、新規グループホームも増設されるにあたり、感染対策を実施しながらの家族会は実施したいと思っている。

年間事業計画（予定）

月	内容	9月	大領日一泊旅行(未定)
4月	家族会	10月	だいくかのん・あるとれんと一泊旅行(未定)
5月	GW企画	12月	クリスマス会
6月	だいくかのん・あるとれんと日帰り企画	1月	新年会
8月	お盆企画	2月	大領日帰り旅行

2021 年度 短期入所 事業計画書

1. 収支（予算）

【予算収入と根拠】 収入 364 万円

2020 年度を基準に予算立てています。コロナの影響により前年度より利用人数が 100 名程減っています。緊急事態宣言で、キャンセルや辞退などが増え、予算通りにはいかなかったのが原因です。1,200,000 円程減算の予算で出しています。ただコロナが治まれば、予算以上の収益が見込まれます。

2. 職員（育成・研修など）

夜勤パートの新規雇用は今年度はありませんでした。コロナの影響もありますが、継続的な課題でもあります。常勤職員の利用枠は 1 対 2 対応、夜勤専従職員の利用枠は 1 対 1 対応の日が増えています。夜勤専従職員の利用枠については各部署の常勤職員の協力（遅出対応等）を得ながら、1 対 1 から 1 対複数名対応の利用枠を増やしていけるよう働きかけていきたいと考えております。稼働率を上げることにより、収益にも反映されると思われます。

2021 年度 こころの相談ネットふうが 事業計画書

1. 収支（予算）

【予算収入と根拠】 地域活動支援センター委託費より：2230 万 6318 円

計画相談および単発事業など報酬予想：約 1000 万円

【支出項目特記事項】 対外的な業務が多く、旅費交通費や研修費などは割合高めか。

2. 職員（育成・研修など）

職員配置：地域活動支援センター 4 人 ・ 計画相談専任 1 人

研修：高齢部門との合同スキルアップ研修、法人内の他職種連携の支援の質向上委員会の事務局運営継続。精神保健医療福祉全般のテーマなどの研鑽。

育成：OJT と法人内外研修などでのスキルアップを図る。部内では人権感覚醸成のための人権研修を継続し、他部署への講師派遣を担い、法人内で拡げていきたい。

3. 事業内容（おもな企画）

①地域活動支援センター

感染症蔓延に伴い、クラスター対策としてプログラムはすべて中止。居場所の提供は継続して行いたく、サロンは緊急事態宣言下でも開所していく。総合相談も継続して対応。

②計画相談

取れる加算を確実に算定していくこと、新型コロナ感染対策にかかる例外対応や算定できるものなども確認していく。利用者、家族、関係事業所と信頼関係の構築のために丁寧な関わりと連携を行っていく。

③福祉教育・住民交流

しょうがいのある方や高齢者、そして家族が安心して暮らせる地域であるために、法人内外との協働で啓発、交流を進めていく予定であったが、感染症蔓延に伴い、2020年度はすべて中止。2021年度の取り組みも未定。事務局機能を誰が担うかは未確認。

④ボランティア 事務局機能継続。詳細は委員会にて対応。

⑤地域移行など

地域移行は積極的に受け入れていく。感染症蔓延に伴い2020年度はケースが上がってこず、対応中のケースも支援中断となっている。年齢超過児の入試施設からの地域移行については、自立支援協議会と協働して対応とする。

⑥防災取り組み

事務局機能を継続。委員会を中心として法人内防災対策は継続。対外的には「災害対応と日常業務を切り離さない」為に啓発普及講演会などは継続して積極的に行っていく。

年間事業計画（予定）

月	内容		
	感染症蔓延状況を鑑みて、イベント系は判断とするため、現時点では未定		

2021年度 コロたま倶楽部 事業計画書

1. 収支（予算）

【予算収入と根拠】1058万円（基本委託料998万円、家賃補助60万円）

地域活動支援センター（A型）運営事業の委託金は、昨年度の利用実績（毎月の利用者数の平均数）に応じて、その金額が決定されます。2021年度の委託金は、今年度4月～1月までの利用実績に応じる額となりますが、その利用者平均が11名/月で確定したため、上記の委託金額1045万円となります。この委託金額は、2020年度の委託金額と同額です。今後も稼働率の向上を図って参りますが、大きく好転することは期待できにくく、従前より検討してきた就労継続支援B型事業所として、あるいは生活

介護との多機能型事業所として運営していくことを本格検討し、2022年4月に、新事業所を開設することを目指したいと思います(就Bで、平均11名/月の稼働であれば、年間約1,400万円の給付費となる)。また、地域活動支援センターは、給付費事業には馴染みにくい障害者の居場所や仲間作りの場として、あるいは地域交流の場として貴重であり、現在とは別の事業内容/機能を付加して、事業を継続する可能性を探ります。

2. 職員(育成・研修など)

2020年度に引き続き、職員の特性やキャリアに応じた業務分掌や育成等を図っていきます。

また、人権研修や、防火防災研修、衛生研修等を必須研修として、地域に開かれた施設運営にしていくために資する研修受講等を以て、職員の育成をしていきます。

3. 事業内容(おもな企画)

① 生産活動としての喫茶店運営を中心に、利用者と地域住民・お客さんの交流を通じた相互のエンパワメントを図ります。そのため、各シーズンやイベントに準えた住民参加型オープン企画を実施します(隔月実施:バレンタインデーの「手作りチョコ」企画など)。

②利用者の外出企画へのニーズが高いため、年3回の外出企画を試みます。(従前は年2回。2020年度はコロナ禍により未実施)

①、②ともに、新型コロナウイルスの感染拡大防止を最優先とします。

2021年度 オガリ作業所：生活介護 事業計画書

1. 収支(予算)

【予算収入と根拠】

算出根拠として平均利用者25人、利用者年間252日開所(月～金と年末年始以外の火・木の祝日開所)を予定。2021年度は職員4名による重度障がい者支援加算の取得により20名まで個人加算を継続。前年と比して重度障がい者加算の初期加算700単位(15名分で年間約600万円程)が取得できないこともあり、総計でいくと前年よりも加算収入に関しては減額になると思われる。なお利用者の所用、体調などの欠席も考慮して9割の通所として計上している。コロナ自粛に関しては特別措置で電話及び訪問支援を行う事で実績取得が可能な対応が継続する限りは昨年度同様で対応していきたい。欠席加算は年間200日前後で200,000円を計上。この合計として上記の93584000円(基本報酬+送迎加算+人員配置加算+専門職加算+食事提供加算+重度障がい者支援加算+欠席対応加算+処遇改善加算)を上げている。

【支出項目特記事項】

- ① 車両メンテナンス(車検3台 その他修理費用) 500,000円
- ② オガリフロア設備メンテナンス 300,000円(蛍光灯、プラダン、椅子買い替え、壁の補修)

等)

③ パーテーション 300,000 円

④ パート企画賞(パート育成の一環で事業企画を職員と一緒に担っていただき、内容に応じて評価を行う。積極的に参加の姿勢を示されるパート職員に関しては特典を設ける。)200000 円

合計 1,200,000 円

2. 職員（育成・研修など）

2019 年度より、徐々に個別支援へのアプローチを強化し、構造化を進めている。個別での活動が増える一方で、スタッフ個々の知識量や支援スキルを求める場面が増えている。それに伴い、各職員の支援の視点や班のマネジメントを図っていくために、すみすみ研修を中心とした研修参加を促したい。現場の中心となれる人材育成も含め主任、係長と現状を共有しながらマネジメントの部分にも協働で行っていききたい。同時に法人全体で取り組んでいる防災関連の研修は必須として参加し、有事に備えられるように日頃から準備を怠ることがないよう努めていく。

(予定研修)

●研修→・すみすみ研修・防災研修・施設見学・強度行動障がい研修・アイサポート研・PECSワークショップ・障施協研修・法人研修

3. 事業内容（おもな企画）

コロナ禍における感染症の問題もあるが、外食等は避けながらも野外での活動の機会も確保していきたい。

年間事業計画（予定）

月	内容	月	内容
4	花見	5	GW祝日事業 外出
6	外出	7	外出
8	お盆祝日事業	9	懇談会・福祉共育
10	外出・福祉共育	11	外出・福祉共育
12	クリスマス会	1	正月企画(新年会)
2	懇談会・外出	3	懇談会・外出

2021 年度 オガリ作業所：就労継続支援 B 型 事業計画書

1. 収支（予算）

【予算収入と根拠】

予算収入は 2,910 万円

年間利用者延べ人数 3,607 人×0.9×7,005 円（534 単位+15 単位福祉専門職員配置等加算+89 単位目標工賃達成指導員加算）

コロナウイルスの影響により、パンのイベント販売がほとんど開催されないことが

予想される。それに伴って、イベント日の製パン班メンバー出勤が若干数減少する予定。

介護・厨房班から直接雇用に転じる成果があるが、就 B の稼働率の維持・向上のための新たな利用者と新たな業務の切り出しが課題となっている。介護班 1 名、厨房班 1 名募集していく。

【支出項目特記事項】

パン工房扉の修繕 20 万円

現状、応急処置でしのいでいる状況。扉の上部の枠の付け替えが必要。

2. 職員（育成・研修など）

- ・すみすみ研修にて、基本的支援のあり方、方法を学ぶ。
- ・利用者アンケートを踏まえて、接遇について研修する機会を持つ。
- ・障害特性や職務内容に応じたアセスメント力の向上、就業環境の整備や他機関との調整力等の涵養に資する研修の受講および他法人他機関とのネットワークの構築（大阪府就労支援員研修、大阪障害者雇用支援ネットワーク主催の研修等）。
- ・アップサイクリングを含む商品開発、店舗作り等に資する研修。
- ・交流企画の立案・実施に関わる研修（実地見学）。

3. 事業内容（おもな企画）

コロナウイルスの感染状況等をみて、小規模な行事企画を行う。

年間事業計画（予定）

月	内容	月	内容
4 月	清掃班 WAX がけ	10 月	清掃班 WAX 製パン班イベント(パンプかぼちゃまつり) 支援学校実習生受け入れ
5 月	清掃班 WAX がけ	11 月	清掃班 WAX
6 月	支援学校実習生受け入れ	12 月	清掃班 WAX がけ 製パン班イベント(パンプクリスマスケーキ) クリスマス企画
7 月	清掃班 WAX がけ	1 月	清掃班 WAX がけ
8 月	清掃班 WAX がけ	2 月	製パン班イベント(バレンタイン、住吉区文化フェスティバル) 清掃班 WAX 個別支援計画モニタリング
9 月	清掃班 WAX がけ 個別支援計画モニタリング	3 月	製パン班イベント(ふらっと楽しむすみよし)

1. 収支（予算）

【予算収入と根拠】

算出根拠として平均利用者 25 人、利用者年間 252 日開所（月～金と年末年始以外の月・水・金の祝日開所）を予定。2021 年度は職員 3 名による重度障がい者支援加算の取得により 15 名まで個人加算を継続。前年と比して重度障がい者加算の初期加算 700 単位(15 名分で年間約 600 万円程)が取得できないこともあり、総計でいくと前年よりも加算収入に関しては減額になると思われる。人員配置加算は現状のスタッフ体制を維持する事でⅡ（2：1）。なお利用者の所用、体調などの欠席も考慮して 9 割の通所として計上している。コロナ自粛に関しては特別措置で電話及び訪問支援を行う事で実績取得が可能な対応が継続する限りは昨年度同様で対応していきたい。欠席加算は年間 200 日前後で 200000 円を計上。この合計として上記の 88500000 円(基本報酬＋処遇改善加算＋送迎加算＋人員配置加算＋専門職加算＋食事提供加算＋重度障がい者支援加算＋欠席対応加算) を上げている。

【支出項目特記事項】

- ①車両メンテナンス(車検 3 台 その他修理費用) 600000 円
 - ②設備メンテナンス 200000 円（パーティション、ガラス等、水周りの修理）
 - ③Kirinn 班の扉（取替え予定）400000 円
- 合計 1200000 円

2. 職員（育成・研修など）

2020 年度に大規模な構造化を図り、よりグループ化活動の側面が強くなってくるので、各グループでの個別支援の強化を図っていききたい。それに伴い、各職員の支援の視点や班のマネジメントを図っていくために、すみすみ研修を中心とした研修参加を促したい。現場の中心となる原田副主任には人材育成も含め主任、係長と現状を共有しながらマネジメントの部分にも協働で行っていききたい。同時に法人全体で取り組んでいる防災関連の研修は必須として参加し、有事に備えられるように積極参加していきたい。

3. 事業内容（おもな企画）

感染症の問題もあるが外食等は避けながらも野外での活動の機会も確保していきたい。

年間事業計画（予定）

月	内容	月	内容
4	花見	5	GW 祝日事業 外出
6	外出	7	外出
8	お盆祝日事業	9	懇談会・福祉共育
10	外出・福祉共育	11	外出・福祉共育
12	クリスマス会	1	正月企画(新年会)
2	懇談会・外出	3	懇談会・外出

2021 年度 総セン通所：就労継続支援 B 型 事業計画書

1. 収支（予算）

【予算収入と根拠】

- ・ 27, 254, 000 円：根拠（他班併用及び長期欠席による利用実績数減）

【支出項目特記事項】

- ・ 総セン北側入り口のウッドデッキの塗り替え補修…約 60, 000 円
※経年劣化が進み補修期限を過ぎています。

2. 職員（育成・研修など）

- ・ 大人の〇〇塾再開又はリモート実施
- ・ 他事業所、他機関、他企業との連携強化及びネットワーク拡大

3. 事業内容（おもな企画）

- ・ プリント事業の商品ラインナップ拡大
- ・ らーめん事業レシピ改定に伴う移動販売商品改定

年間事業計画（予定）

月	内容	月	内容
4	イベント出店	10	イベント出店
5	イベント出店	11	イベント出店
6	イベント出店	12	イベント出店・外食研修・大掃除
7	イベント出店	1	イベント出店
8	イベント出店・外食研修	2	イベント出店
9	イベント出店	3	イベント出店

2021 年度 大領地域の家であい：生活介護 事業計画書

1. 収支（予算）

【予算収入と根拠】

- ・ 予算収入：75, 942, 000 円

利用者の増減はなく、概ね今年度と同程度で推移する見込みです。基本報酬単価減による減収はありますが、微減です。利用者 1 名が週に一度 COCORO へ通所することを予定しており、700, 000 円の減収となりますが、おおよそ前年度水準は維持できる見込みです。

【支出項目特記事項】

るーぶ班浴室スペースの改修を予定しています。今後入浴支援を実施することはほぼ

ないため、浴室スペースを改修し有効活用したいと考えております。

業者見積り:100,000 円

2. 職員（育成・研修など）

2021 年度も常勤職員の育成を重点課題として取り組んでいきます。前主任の職員が異動のため大きな戦力ダウンとなります。女性職員の中心的な役割を担っておられたので、若手職員の育成が今まで以上に急務となります。介助面等については自部署だけでなく、他部署のレクチャーも取り入れながら部署全体のレベルアップを図ります。パートスタッフにも勤務形態に変動があります。ベテランパートが勤務日数減になるため、新たなパートスタッフの雇用、育成が急務です。

利用者支援は個別化・構造化を進めていきます。日中での研修参加は現在まであまり参加できていませんが、スタッフの動きのマネジメントをすることで、必要な研修に参加できるよう努めていきます。

3. 事業内容（おもな企画）

年間事業計画（予定）

月	内容	10月	秋の外出
5月	春の外出	3月	家族会
8月	アートギャラリー		個別懇談
9月	であい10周年企画		
	個別懇談		

であい 10 周年企画を検討しています。であい生活介護としても十周年を祝うことができる企画を検討します。

2021 年度 大領 COCORO：生活介護 事業計画書

1. 収支（予算）

【予算収入と根拠】

●予算:7600万円

●プラス根拠:つなぐ 1 名(1 日/週)

ひなた 3 名(3 日/週、1 日/週、1 日/週)

ひなた、つなぐ合同祝日事業による延べ人数の増員(*送迎も実施)

マイナス根拠:長期入院中のメンバー 1 名(2 日/週)

介護保険移行による利用日数減のメンバー 1 名(2 日/週)

【支出項目特記事項】

●スリングシート 5 万円程度、収納棚 2 万円、個別用机 1 万円、テント 1 万円

2. 職員（育成・研修など）

●育休中の職員が復帰。時短勤務となるが、現場対応、ケース担当を担ってもらう。

●アシスタント職員の体制が安定した形が作れたことで、「支援の統一」「メンバー中

心の支援」を目指した勉強会を実施していく。

●ひなたはカードによるスケジュールなどの提示を始めている。メンバーによっては目的がわかり、次の行動にも移りやすくなっており、一定の成果が見られ始めている。生活全般の行動(トイレ、手洗い、歯磨き、食事)など声掛けのみになっているのをカード支援でより明確に伝えていける形を目指していく。

●つなぐは PECS 実践の継続や作業環境の見直しを図り、より個々の障がい特性にあった環境作り(構造化)を目指していく。

●コロナウィルス対策の強化を目指し、看護師と連携し、感染症の研修、飛沫防止対策、嘔吐時の処理の実地訓練を適宜実施していく。

3. 事業内容(おもな企画)

●外出企画:年1回開催。イオンモール、公園、外食の希望制とする。

●ボランティアの積極的受け入れ:コロナ禍により室内時間が増えたことで、室内で楽しめるプログラムの充実につながるようにしていく。

●祝日事業:ひなた中心で受け入れていた形からつなぐも合同で受け入れていく。また、送迎も実施することでより多くの希望に沿える形を作っていく。

年間事業計画(予定)

月	内容	10月	外出、祝日事業、前期懇談
4月	歓迎会、新規メンバー懇談	11月	外出、祝日事業
5月	祝日事業	12月	クリスマス会、家族懇親会
6月	(外出)	1月	新年会、祝日事業
7月	外出、祝日事業	2月	祝日事業、後期懇談
8月	祝日事業	3月	1年お疲れ様会、後期懇談
9月	外出、祝日事業		祝日事業

2021年度 大領COCORO 児童発達支援・放課後等デイサービス 事業計画書

1. 収支(予算)

【予算収入と根拠】児童発達支援:¥13,007,000 火曜5名、水曜4名、木曜7名、金曜3名、土曜5名で計算し欠席を考慮し0.9をかけた数値に処遇改善加算858,000を加えた数値
放課後等デイサービス:¥4,372,000

水曜3名、土曜6名で計算し欠席を考慮して0.9をかけた数値に処遇改善加算288,000を加えた数値＝児童発達支援・放課後等デイサービスの合計:¥17,379,000

【支出項目特記事項】

新たに専門的支援加算187単位(仮)の取得を視野に、保育士資格保有のパート職員を募集中

2. 職員(育成・研修など)

人権・虐待防止研修・感染症対策研修・愛着形成や感覚統合など利用者・保護者支援
社会福祉法人ライフサポート協会 2021年度事業計画(障がい事業部)

に繋がる研修を随時

3. 事業内容（おもな企画）

地域の子育て世帯を対象とした事業所開放を新たに検討

年間事業計画（予定）

月	内容		
4月	2021年度体制スタート	2月	1年生フォローアップ②
7月	1年生フォローアップ①	3月	後期個別懇談
9月	事業所開放 前期個別懇談		

2020年度 つみき（生活訓練・生活介護）事業計画書

1. 収支（予算）

【予算収入と根拠】

生活介護 9名、生活訓練 5名と契約

*内、生活介護1名は利用予測が難しいため、収入には含まず。

2020年度の稼働日： 243日

○2020年度はコロナ感染疑い者が出てPCR検査の結果が出るまで休所が発生し稼働日が減った

2021年度の稼働日：245日と想定

○2021年も祝日の数日閉所を想定する。

生活介護は重度障害者支援加算・初期加算・処遇改善加算を取得

【支出項目特記事項】

事務作業での要望

- ・つみき内の職員用パソコンで、共有フォルダのようなものを設置したい。法人内のオールフリー等とは別建ての社内ネットワークのこと。つみき内のネットワーク環境が把握できていないため、必要であればネットワーク環境を整えたい。

2. 職員（育成・研修など）

PECSレベル1研修：1名 39,000円 *予算可能であれば

強度行動障がい者支援者養成研修(基礎・実践)：1名 10,400円 *加算のため

コンサルテーション年3回 30,000円 *質の向上のため

3. 事業内容（おもな企画）

1、2年生

調理、レクリエーション、おんがく、ダンス、ヨガストレッチ、せいかつ、身だしなみ講座、作業、暮らし、大人のマナー、コミュニケーション、

3年生

おしゃれセミナー、ボランティア、企業研究、仕事体験、ティータイム、グループワーク、スポーツ、サークル活動、実習

年間事業計画（予定）

月	内容		
4	入学式		
7	オープンキャンパス		
9	キャンプ・旅行		
11	懇親会		
12	クリスマス会		
2	学びの場		
3	卒業式		

2021年度 じらふ・泉北（放課後デイサービス）事業計画書

1. 収支（予算）

【予算収入と根拠】

収入：19,526(千円)

根拠：基本単価は平日・休日共に下がる見込みだが、指導員等配置加算を再び取得予定。新たに車購入もするため、これまでなかなか応えられなかった地域の小・中学校の利用者の受け入れを狙う。

【支出項目特記事項】

- ・送迎車2台の車検（うち一台は、リース補償範囲内）、その他整備メンテナンス費
- ・送迎車増による駐車場代、保険料の増額
- ・おもちゃロッカーの買い替え（鍵つきのものを購入希望）

2. 職員（育成・研修など）

部門内研修・・・引き続き、スタッフ部門内研修(pecs等支援について、制度について、事故防止、感染症対策、人権擁護等)を実施。

外部研修・・・「すみすみ研修」はじめ、堺市や連絡会、その他の団体が行う研修はスタッフ全員に周知し、希望に応じて参加補償する。またzoom等オンライン研修も積極的に参加をすすめていく。

パート対象個別面談・・・人事評価も含め、パートさんの個別懇談を年1回程度実施し、日常的な疑問や不安、その他意見交換等できる機会を持つ。

新人職員の育成・・・OJTを実施しながら、パートさん対象の研修にも参加してもらう

など、丁寧な育成を進めていく。

3. 事業内容（おもな企画）

- ・前年度からの課題としている、児童発達支援事業との多機能化について引き続き検討課題としていく。
- ・利用対象者を、これまでの中高生メインから小学生の受け入れもし始めたことで、構造化の見直しを随時行なう。そのためのおもちゃの整理の為に鍵付きロッカー購入を検討。
- ・コロナ感染拡大状況を鑑みながら、季節行事や外出行事を随時再開していく。

年間事業計画（予定）

月	内容	10月	ハロウィンイベント
毎月	おやつづくり、創作活動等	12月	クリスマスイベント、年越しそば
5月	GW企画（クッキング、外出等）	1月	初詣、書初め
7～8月	夏休み（クッキング、プール等）	3月	避難訓練、卒業イベント
9月	避難訓練		

2021年度 みんなのマーケットるびなす：就労継続支援B型 事業計画書

1. 収支（予算）

4月より 2名新規利用開始の為、収入増の見込み。

【予算収入と根拠】 (堺市 1単位 10.57)

取得基礎単位数 (537) 単位

利用者平均 1日当たり 14名 A:一日当 (約78900円)

送迎加算 (1) 10単位 平均9名 B:1日当 (約18900円)

月間 173万5000円×12ヶ月=2082万円

【支出項目特記事項】

送迎車両タイヤ交換 2台 計12万

2. 職員（育成・研修など）

- ・各種基礎研修（人権、感染症等）
- ・他部署間交流の実施
- ・近隣の方2名パート職員雇用予定。

3. 事業内容（おもな企画）

- ・店舗活動
- ・ジュース販売・営業

年間事業計画（予定）

- ・地域の農家さん等から頂いた野菜等も使いながら、食べる楽しみやバランスの良い食事を楽しむ為調理企画等も随時実施していく予定。

月	内容		
6	企画(カラオケ等)		
9	企画(BBQ)		
12	クリスマス会		

2021 年度 はびな：生活介護 事業計画書

1. 収支（予算）

【予算収入と根拠】

収入： 45,600（千円）（内訳；月 3,800 千円×12 ヶ月）

根拠：新規利用者の増員と既存利用者の利用増加で、平均稼働 15 名の見込み。

【支出項目特記事項】

- ・送迎車 2 台車検予定。
- ・iPad の購入
- ・利用者増員による、机、椅子等の備品購入

2. 職員（育成・研修など）

- ・部署内勉強会の実施(月 1 回)
- ・外部研修…zoom を活用し、オンライン研修にも参加。
- ・他部署間交流の実施(年 3 回程度)
- ・パートスタッフ個別面談…人事評価も含めて行い、意見交換の機会にする。

3. 事業内容（おもな企画）

- ・調理
- ・プール
- ・みかん狩り
- ・いずれも、新型コロナウイルス感染拡大状況を鑑みながら、屋内施設外出等も再開していく。

年間事業計画（予定）

月	内容	月	内容
7・8 月	プール	毎月	調理
9 月	避難訓練		
11 月	みかん狩り		
12 月	クリスマス会		